

<特許技術>オゾンので、
菌に強く人に優しい、新世代除菌消臭水

オゾラル配合の新世代除菌消臭水

MOU MÅKEN



 もう負けない。モーマケン。

オゾラルの力で、菌に強く人に優しい、特許製法の除菌消臭水

MOU MÅKEN とは？

MOU MÅKEN (モーマケン)は、特許技術(第6783141号/第5261569号)を基に誕生した、
“オゾラル”を主原料とした除菌消臭水です。

水と同じ感覚で使用でき、人体や環境に優しく、ウイルス対策・細菌の除菌に効果的です。



驚きの除菌力

幅広い菌やウイルスに対して、
高い除菌効果を発揮。
ウイルス除去・除菌率99.99%
除菌後は水と酸素に戻るため、
残留性もありません。

※すべてのウイルス、菌、臭いに対して効果があるわけではありません。



確かな消臭力

ニオイの原因菌そのものを
分解・除去するので、
ニオイ戻りもなし。
液体自体も無臭で、ベタつきも
ありません。



高い安全性

危険物は含まれておりません。
すべて食品添加物として
認められた成分になります。
エタノール不使用なので、火気
の近くでも安全に使用できます。



特許技術で製法

新たな原材料 “オゾラル”

オゾラル（過酸化物）

オゾンマイクロバブル

×

海洋深層水ミネラル

MOU MÅKENの主原料である“オゾラル”は、

特許技術（第6783141号/第5261569号）を基に製法された

“オゾンマイクロバブル”と、“海洋深層水ミネラル”の過酸化物です。

オゾンの高い除菌力を保ったまま、安定保存が可能になった“オゾラル”は、

人に優しく、幅広い菌やウイルスに対し除菌作用のある**新たな原料**です。

▼様々な菌に対して効果を実証済みです。

▼現在も新たな菌に対して検証中。更なる使用用途の展開が期待されます。

※すべての菌に効果があるわけではありません

オゾラル

検索



特許情報

オゾラル製法技術（特許第6783141号/第5261569号）

JP 6783141 02 2020.11.11

特許第6783141号
特許第5261569号

特許種別	特許権者	発明の名称	IPC分類	特許の範囲
特許第6783141号	株式会社カイヨー	オゾラル製法技術	B01D 11/02	オゾラル製法技術
特許第5261569号	株式会社カイヨー	オゾラル製法技術	B01D 11/02	オゾラル製法技術

【特許請求の範囲】
 1. オゾラル製法技術
 2. オゾラル製法技術
 3. オゾラル製法技術
 4. オゾラル製法技術
 5. オゾラル製法技術
 6. オゾラル製法技術
 7. オゾラル製法技術
 8. オゾラル製法技術
 9. オゾラル製法技術
 10. オゾラル製法技術
 11. オゾラル製法技術
 12. オゾラル製法技術
 13. オゾラル製法技術
 14. オゾラル製法技術
 15. オゾラル製法技術
 16. オゾラル製法技術
 17. オゾラル製法技術
 18. オゾラル製法技術
 19. オゾラル製法技術
 20. オゾラル製法技術
 21. オゾラル製法技術
 22. オゾラル製法技術
 23. オゾラル製法技術
 24. オゾラル製法技術
 25. オゾラル製法技術
 26. オゾラル製法技術
 27. オゾラル製法技術
 28. オゾラル製法技術
 29. オゾラル製法技術
 30. オゾラル製法技術
 31. オゾラル製法技術
 32. オゾラル製法技術
 33. オゾラル製法技術
 34. オゾラル製法技術
 35. オゾラル製法技術
 36. オゾラル製法技術
 37. オゾラル製法技術
 38. オゾラル製法技術
 39. オゾラル製法技術
 40. オゾラル製法技術
 41. オゾラル製法技術
 42. オゾラル製法技術
 43. オゾラル製法技術
 44. オゾラル製法技術
 45. オゾラル製法技術
 46. オゾラル製法技術
 47. オゾラル製法技術
 48. オゾラル製法技術
 49. オゾラル製法技術
 50. オゾラル製法技術
 51. オゾラル製法技術
 52. オゾラル製法技術
 53. オゾラル製法技術
 54. オゾラル製法技術
 55. オゾラル製法技術
 56. オゾラル製法技術
 57. オゾラル製法技術
 58. オゾラル製法技術
 59. オゾラル製法技術
 60. オゾラル製法技術
 61. オゾラル製法技術
 62. オゾラル製法技術
 63. オゾラル製法技術
 64. オゾラル製法技術
 65. オゾラル製法技術
 66. オゾラル製法技術
 67. オゾラル製法技術
 68. オゾラル製法技術
 69. オゾラル製法技術
 70. オゾラル製法技術
 71. オゾラル製法技術
 72. オゾラル製法技術
 73. オゾラル製法技術
 74. オゾラル製法技術
 75. オゾラル製法技術
 76. オゾラル製法技術
 77. オゾラル製法技術
 78. オゾラル製法技術
 79. オゾラル製法技術
 80. オゾラル製法技術
 81. オゾラル製法技術
 82. オゾラル製法技術
 83. オゾラル製法技術
 84. オゾラル製法技術
 85. オゾラル製法技術
 86. オゾラル製法技術
 87. オゾラル製法技術
 88. オゾラル製法技術
 89. オゾラル製法技術
 90. オゾラル製法技術
 91. オゾラル製法技術
 92. オゾラル製法技術
 93. オゾラル製法技術
 94. オゾラル製法技術
 95. オゾラル製法技術
 96. オゾラル製法技術
 97. オゾラル製法技術
 98. オゾラル製法技術
 99. オゾラル製法技術
 100. オゾラル製法技術

JP 5261569 02 2020.11.11

特許第6783141号
特許第5261569号

特許種別	特許権者	発明の名称	IPC分類	特許の範囲
特許第6783141号	株式会社カイヨー	オゾラル製法技術	B01D 11/02	オゾラル製法技術
特許第5261569号	株式会社カイヨー	オゾラル製法技術	B01D 11/02	オゾラル製法技術

【特許請求の範囲】
 1. オゾラル製法技術
 2. オゾラル製法技術
 3. オゾラル製法技術
 4. オゾラル製法技術
 5. オゾラル製法技術
 6. オゾラル製法技術
 7. オゾラル製法技術
 8. オゾラル製法技術
 9. オゾラル製法技術
 10. オゾラル製法技術
 11. オゾラル製法技術
 12. オゾラル製法技術
 13. オゾラル製法技術
 14. オゾラル製法技術
 15. オゾラル製法技術
 16. オゾラル製法技術
 17. オゾラル製法技術
 18. オゾラル製法技術
 19. オゾラル製法技術
 20. オゾラル製法技術
 21. オゾラル製法技術
 22. オゾラル製法技術
 23. オゾラル製法技術
 24. オゾラル製法技術
 25. オゾラル製法技術
 26. オゾラル製法技術
 27. オゾラル製法技術
 28. オゾラル製法技術
 29. オゾラル製法技術
 30. オゾラル製法技術
 31. オゾラル製法技術
 32. オゾラル製法技術
 33. オゾラル製法技術
 34. オゾラル製法技術
 35. オゾラル製法技術
 36. オゾラル製法技術
 37. オゾラル製法技術
 38. オゾラル製法技術
 39. オゾラル製法技術
 40. オゾラル製法技術
 41. オゾラル製法技術
 42. オゾラル製法技術
 43. オゾラル製法技術
 44. オゾラル製法技術
 45. オゾラル製法技術
 46. オゾラル製法技術
 47. オゾラル製法技術
 48. オゾラル製法技術
 49. オゾラル製法技術
 50. オゾラル製法技術
 51. オゾラル製法技術
 52. オゾラル製法技術
 53. オゾラル製法技術
 54. オゾラル製法技術
 55. オゾラル製法技術
 56. オゾラル製法技術
 57. オゾラル製法技術
 58. オゾラル製法技術
 59. オゾラル製法技術
 60. オゾラル製法技術
 61. オゾラル製法技術
 62. オゾラル製法技術
 63. オゾラル製法技術
 64. オゾラル製法技術
 65. オゾラル製法技術
 66. オゾラル製法技術
 67. オゾラル製法技術
 68. オゾラル製法技術
 69. オゾラル製法技術
 70. オゾラル製法技術
 71. オゾラル製法技術
 72. オゾラル製法技術
 73. オゾラル製法技術
 74. オゾラル製法技術
 75. オゾラル製法技術
 76. オゾラル製法技術
 77. オゾラル製法技術
 78. オゾラル製法技術
 79. オゾラル製法技術
 80. オゾラル製法技術
 81. オゾラル製法技術
 82. オゾラル製法技術
 83. オゾラル製法技術
 84. オゾラル製法技術
 85. オゾラル製法技術
 86. オゾラル製法技術
 87. オゾラル製法技術
 88. オゾラル製法技術
 89. オゾラル製法技術
 90. オゾラル製法技術
 91. オゾラル製法技術
 92. オゾラル製法技術
 93. オゾラル製法技術
 94. オゾラル製法技術
 95. オゾラル製法技術
 96. オゾラル製法技術
 97. オゾラル製法技術
 98. オゾラル製法技術
 99. オゾラル製法技術
 100. オゾラル製法技術

特許要旨

オゾラルの特性と製造方法

①多様な菌に対する除菌効果

オゾラルは人体に無害でありながら、多様な菌に対応します。

②長期安定保存の成功

通常オゾン効果時間が短いという問題がありましたが、オゾラルは長期安定保存が可能です。

↓ 詳細は下記特許公報をご確認ください ↓

- ▼特許第6783141号記載（特許公報より抜粋）
- ▼特許第5261569号記載（特許公報より抜粋）

- <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1800/PU/JP-6783141/15D64DFAB034118197D4308C4718C4EF7C870540DD18B5A5FA45DD1BAD8C84F6/15/ja>
- <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1800/PU/JP-5261569/14B523F4898B9FE006FBA745570ABBCEA9A5A8F16C3F0A8DB9B7E883A814D629/15/ja>



新たな関連特許も取得予定です。





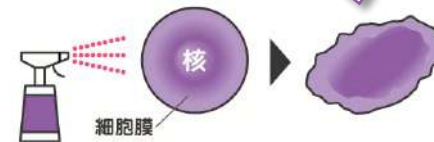
アルコールを使わない

オゾラル配合。特許製法のお水。MOU MÅKEN。



細胞膜を酸化させる

分子構造を破壊し、水と酸素に還元するため耐性菌はできにくい。



- ・強い除菌力のあるオゾンは今まで短寿命で保存性が悪かったのですが、**オゾラル**は、オゾンの効果を保ったまま常温にて**12ヶ月効果**を保持しています。
- ・特許製法により、**様々なウイルスや菌の無害化**に成功しています。
- ・**ノンケミカル処方**で、アルコール、香料、着色料、界面活性剤、防腐剤は不使用です。

※すべての菌に効果があるわけではありません



水の様な使い心地

安心・安全にご使用いただけます。

- ・ **人体に安心・安全**であることを確認済みです。（第三者機関による急性毒性試験済）
- ・ 国で認められた**食品添加物の成分**のみを使用しております。
- ・ 水と同じ**中性領域（pH7-8）**になります。
- ・ 防錆テストも**水道水と同等**になります。
- ・ **無味・無臭・無色**です。



赤ちゃんや大切なペットがいる環境でも、安心してご使用いただけます。

お水の様に使える除菌消臭水です。



商品ラインナップ

全4種類

MOU MÅKEN

MOU MÅKEN

ベーシックタイプ



スプレータイプ 500ml



詰替ボトル 500ml

MOU MÅKEN premium

ベーシックタイプより20%高濃度処方



スプレータイプ 500ml



詰替ボトル 500ml

MADE IN JAPAN

※本製品は、医薬品、医薬部外品ではありません。



活用シーン

日常の様々な生活シーンで安心してご使用いただけます。

<除菌・消臭したい対象物にスプレーをするだけ> 希釈や生成する必要はございません。





安全データシート (SDS)

安全性の高さ、危険性の低さが確認されています。

<p>KIYO-020001J 株式会社キヨグローバル KIYO-020001J Ver.1.0 1/1 2020年4月改訂</p> <p>安全データシート (SDS)</p> <p>1. 化学物質等及び会社情報 化学品の名前 MOU MAKES (モーマク)</p> <p>2. 危険有害性の説明</p>	<p>KIYO-020001J 株式会社キヨグローバル KIYO-020001J Ver.1.0 1/1 2020年4月改訂</p> <p>3. 組成及び成分情報</p> <p>4. 応答情報</p> <p>5. 危険性の説明</p>	<p>KIYO-020001J 株式会社キヨグローバル KIYO-020001J Ver.1.0 1/1 2020年4月改訂</p> <p>6. 漏出時の措置</p> <p>7. 取り扱い及び保管上の注意</p> <p>8. 暴露防止及び保護措置</p> <p>9. 物理的及び化学的性質</p>	<p>KIYO-020001J 株式会社キヨグローバル KIYO-020001J Ver.1.0 1/1 2020年4月改訂</p> <p>10. 安定性及び反応性</p> <p>11. 有害性情報</p> <p>12. 環境影響情報</p>	<p>KIYO-020001J 株式会社キヨグローバル KIYO-020001J Ver.1.0 1/1 2020年4月改訂</p> <p>13. 廃棄上の注意</p> <p>14. 輸送上の注意</p> <p>15. 運送適合</p> <p>16. その他情報</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

健康に対する有害性（急性毒性(経口)、急性毒性(経皮)、皮膚腐食性・刺激性等）、物理的及び化学的危険性（引火性液体分類、自然発火性液体分類等）への**安全性が高く、区分外**である。

※本製品は、医薬品、医薬部外品ではありません。